

オワセベニシダ	<i>Dryopteris ryo-itoana</i> Sa.Kurata	絶滅危惧Ⅱ類
		オシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村瀬正成) 
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は斜上。ヌカイタチシダモドキに似るが、下部羽片の下向き第1小羽片は八字形を呈する。葉柄の鱗片は茶褐色。	
生態的特徴	本州(岐阜県以西)・四国に分布する。岐阜県では県南中部のチャートの岩場に分布するが生育地は少ない。	
分布状況	山林中の斜面や崖下のガレ地に稀に生育する。	
減少要因	山林の開発による生育地の消失、および山林の放置による荒廃や岩場の崩落等で生育環境が近年大きく変化している。	
保全対策	生育地の開発防止と保全、および山林の整備や除伐など生育環境を維持する活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成